

## Q.58 これから留学する人へのアドバイス

### 【中国留学を終了した方々の声】

耳が中国に慣れていないため、ラジオをBGMとして流していた。発音は真似が一番。中国人教員の発音に集中し真似をすることで現地の発音に近づく。また留学の醍醐味は「今日覚えたことを今日街で使える」こと。どんどん使って身につけていくとよい。(語学、交換・派遣)
なるべく現地の中国人と積極的に交流してください。(語学、交換・派遣)
・学校内だけでなくとどまらず、現地の様々な活動や観光などに参加すること。・予習・復習はしっかりやること。楽をすればいくらでも楽できてしまうし、そのような学生が周りには多いが、流されないこと。・日本語を学ぶ中国人との相互学習は効果的。・HSKはなるべく多く受けて、目に見える成果を挙げること。(語学、政府奨学金)
長いすぎると日本の学界動向や人事の動きに疎くなり、将来に不利となる。(専門、政府奨学金)
・日中両政府や各種団体が奨学金を用意しているので、そうした奨学金を利用すること。・手続きは旅行会社・留学斡旋会社などに依頼せず、自分で出来る限り行うこと。・身近にいる中国人と積極的に交流し、会話の練習を行うこと。・語学の他に、何か一つ専門分野の勉強をする予定を立てること。・日本出発前に、肝炎の予防接種を受けておくこと。・日本出発前に、歯医者に良く診てもらうこと。・(学生の場合)自分の指導教員の知り合いが留学先の大学にいれば、紹介状を書いてもらうこと。・現地事情を知っている人に、話を聞いておくこと。・ノートパソコンを持って行くこと。・気候の変化が激しいので、夏物・冬物どちらも出発前に用意しておくこと。(語学+専門、政府奨学金)
中国人の友人はもちろん、韓国人やその他の留学生との深い交流、表面上だけではなく心の交流をすることをぜひお勧めします。(語学、私費)
中国の方は、確かに、見知らぬ人や他人には冷たいところがあります。けれども、一度仲良くなったり信頼を得ることができたら、家族同様にすべてにわたって親身につきあい、過ごしてくれます。邪険にされることがあってもすねずひるまずあきらめずぶつかっていけば、きっともう一つの家族を得ることができますよ！(語学+専門、私費)
目的意識を持つのがよいと思います。(専門、政府奨学金)
せっかく留学すると決意したからには、語学や専攻の域をこえて興味あることに積極的に取り組んでみてください。異文化を楽しんでください。あと、語学に関しては授業で習ったことをすぐ街に出て実践してみるのが自信をつける早道だと思います。(語学、会社派遣)
1. 留学前の様々なツールによる情報収集が大事であるとともに、現地入り後に日々入手する新規情報に対する真偽を見極める目を、自ら磨く必要がある。2. 一人の人間として(日本人として、他国・地域の人と接触する人として)、節度のある且つ信念がある言動・行動。3. 日本学生支援機構の利用。機構側は、更なる宣伝・支援強化。(語学、会社派遣)
語学習得目的の留学の場合は、なるべく現地の友人や他国の友人と多く接触するほうが語学上達が早いと思います。(語学、私費)
しっかりと目的意識をもって、叩かれる事責められる事を恐れず、色々な階層の人達と話し、経験を積んできてほしいです。そして中国を好きになって帰ってきてほしいです。(語学+専門、私費)
中国留学はどげや資金面から考えても難しくないの、斡旋団体を利用しなくても、十分手配が可能です。かえってそれくらいできないと、現地にいったからが困ると思います。何事も日本のように丁寧に対応してはくれません。準備段階から文化の違いになれておくほうがよいと思います。(語学、私費)
現地へ行くと、そこで生活上のコミュニケーションがあり、またネイティブの友人と交流している事により、なんとなく、そこで過ごしているだけで勉強しているような錯覚に陥っていたように思います。語学力を目的として留学する場合、具体的な目標レベルを設定することをおすすめします。(語学、私費)
留学は、楽しいです。楽しいので、ついつい学業よりも遊びに一生懸命になってしまうことがあります。遊ぶことも大事です。海外に長期滞在する、それだけでも貴重な体験をする事ができます。でも遊んだだけにならないよう、留学前に目標をしっかり決めて臨むことが大切だと思います。また、手続き上のトラブルがよくあります。申し込んだときと話が違う、という事はしょっちゅうです。冷静に対処できるよう、十分に情報収集しておくべきだと思います。(語学+専門、交換・派遣)
中国留学は、学力、語学力、対人コミュニケーション能力などを鍛える絶好の機会であると思う。中国で多くの優秀な中国人の学生に出会い、彼らのモチベーションの高さ、粘り強さなど、多くを学んだ。現地で就業している日本人からも、彼らの向上心やチャレンジ精神など、多いに刺激を受けた。また現地で培った研究のネットワークが現在の職にも生かされており、留学の成果は計り知れない。(専門、交換・派遣)
はっきりした目的を持って留学すること、そして留学期間が終了した後のこともイメージをできるだけ明確にしておくことを勧めます。留学期間を終えて、日本へ戻ってはきたものの・・と言う人を多く見かけますので。(語学+専門、政府奨学金)
メンツですとか、関係といった文化は、とくに中国では重要ですので、語学だけではなく、人間関係を築き上げる上での習慣などを是非身につけていただければと思います。(語学+専門、政府奨学金)

<p>語学留学の場合は留学先の学校にもよるかもしれませんが、基本的には現地の先生は日本の学校のように生徒をいちいち気遣ってくれませんが、語学力の進捗も漢字をみて分かった気になってしまいがちですが、半年・一年の語学研修生レベルではそこそこの日常会話が交わせる程度で、ビジネスでは使えないと思います。留学生生活だけで仕事で使うまでのレベルに持って行くには、相当な自身のモチベーション維持と経済力とのせめぎ合いになると思います。語学留学を経て現地の学生になったほうがいいですが、時間とお金が相当必要だと思います。特に自分は社会人を一度辞めて自費で留学したのですが、育英会の返還も1年延期していただいたほどお金がない中、なかなか語学力は身につかないので焦るばかりでした。(語学留学、私費)</p>
<p>留学前はあまり不安がらないことがポイントです。これまで多くの方が留学されていますし、現地の方は向こうで生活されているのですから、だいたい何とかなるものだと思います。「もしも肌に合わなければ、帰ってほしい」というくらいの気持ちで留学を決断してもいいのではないのでしょうか。留学してからのアドバイスは、以下の3点です。1) 留学という機会を大切にす: せっかく留学したのですから、勉強、交流、旅行など全てにおいて濃密な時間を過ごしましょう。留学は期間が区切られていますから、今しかできないことを存分に経験してください。2) 現地の基準に慣れる: 何事も日本の基準で考えると、不条理なことや受け入れられないことが目について疲れてしまいます。それよりもできるだけ現地の基準や考え方を研究し、この国ではなぜそうなるのかを考えてみてください。もしかするとそちらの方が合理的だという理由が見つかるかもしれません。現地の基準を身につけるとその後の生活がスムーズになります。3) 自分から発信する: ブログでも人に話すのでも、とにかく起こったことを外に伝えていきましょう。そうすることで、例えばやるかやらないかを迷った時は積極的な方を選ぶようになり嫌なことや困ったことがあっても、ネタになると思えます。そうなれば、マイナス面がぐっと軽減されますよ。最後に留学が終わった時の自分が明確に描けていると目標を持って毎日を過ごすことができると思います。これから留学する皆さまにすてきなストーリーが待っていますように！(語学留学、私費)</p>
<p>留学生の中に止まらず、積極的にキャンパス内外の現地の人との交流を図ること。(語学、交換・派遣)</p>
<p>がんばってください。(語学、私費)</p>
<p>日中の歴史や政治問題を渡航前に十分に研究しておいてほしい。自分の考え方を持った上で、中国人との政治的な議論は何としても避けるべき。彼らの意見の背景を理解していると余裕を持って距離を置くことができる。センシティブな話題を避けるための言い回しや態度を事前に研究しておくとい。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>目的意識を強くもって、好奇心をもって大学の外に出て行って、多くの人と関わる中で、広い視野、寛容性を育てて欲しい。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>時間が限られていることを自覚して、現地を満喫してください。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>1年前後の留学であれば、事前の情報収集・語学力の強化、留学の目的や計画を明確に決めておくことで、充実度かなり変わると思う。ただ、あまり型に嵌らず、心に余裕を持つのも大事。机上の勉強に限らず、現地の友人を沢山作り、なるべく多くの地域を回ってみると、中国についての理解がより一層深まる。中国は広い、色々な文化や考え方の人がいる。大学内の一部の学生と接しているだけでは、本質は見えてこない。積極的に知見を広げ、知識や語学力だけでなく、人間的な成長を目指して欲しい。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>なるべく中国人の友人を作ること。身体を大事にすること。嫌なことはすぐに忘れるように努力して、自分をいたわること。(語学、私費)</p>
<p>人任せにせず自分で情報を集めること。日本と違うことがあっても拒否したりせず、なぜ違うのかを考えながら柔軟に対応することに気を付けていれば、困ることが少なくなると思います。どうしても受け入れられない事は、理由を説明して伝えることも大事だと思います。現地では積極的に中国語を話したり、行動範囲を広げることで早くなじむことができました。慣れ始めたころに病気にかかる方が多かったので、病院への行き方の確認、保険の準備、日本で飲んでいる薬や持病を訳した紙などを準備しておく安心だと思います。できれば行く前に、日本と中国の関係や、中国の歴史、習慣、最近のニュースなどを勉強していくと良いと思います。(語学留学、私費)</p>
<p>日本人とも別け隔てなく付き合いましょう。(語学、交換・派遣)</p>
<p>・中国の大学は、寮や大学の制度、費用等も急に変更があるため事前の情報収集だけでは対応できないことがあります。金銭的にも精神的にも少し余裕を持って行ってください。・健康、無事故だったら、その留学は大成功だ！と思っています。留学の生活は疲れやすいので、無理しないでください。・私自身、留学前の情報収集が面倒くさかったので、手続き等すべて幹旋会社にお願しました。今思えば、費用も非常に高く、渡航時の問題発生への対処も非常に不満でしたので、後悔しています。各会社によってサービス内容も違うので、自分でできることは自分でやり、現地の大学との連絡等は幹旋会社に頼むくらいがいいと思います。(語学+専門、私費)</p>
<p>中国への留学は自分の人生においてとても大きな一部分となると思います。留学したいという気持ちが少しでもあるならば、チャレンジすることをお勧めします。(語学、交換・派遣)</p>
<p>現地に行くついでにだらだらしてしまいがちなので、具体的な目標や計画を立てて行っていただきたいです。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>中国語は初級まででも国内でしっかりやってから行くべき。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>留学先ではクラスメイトや寮に住んでいる生徒がほとんど外国人なので、外国人同士が集まる機会が多くなってしまいがちですが、そういう機会を出来るだけ減らし、自分から何でも積極的に行動するのが一番だと思います。日本人であれば、その学校に日本語学科があれば、担当の教授に相談して日本語学科の授業に参加させてもらったり、もしそういうのがなくても、中国に日本語学習者は多いので、学校に許可をもらい掲示板に相互学習する人を募集するような張り紙をするだけでも中国人の友達はたくさんできると思います。そのようにしてたくさん話をすれば短い期間でも語学は上達するので、是非何でも積極的に行ってください。(語学留学、交換・派遣)</p>

就活の時期に、中国語の強さを知ることになると思うので、それを念頭に、しっかりと自分の強みとしての語学を身につけられる留学にした方が良いと思います。僕の住んでいる県は地方都市ですが、それでも十分に中国語は強みとしてアピールでき、念願の就職希望先に入ることができました。また、中国は日本より物価が低分、遊びがちになる人もいましたので、周りに流されず、やはり自分の目的をしっかりと持ち、自分を高め続けることが、帰国後の自分につながると思います。(語学、私費)
現地ではなるべく日本人以外と仲良くなり、一緒にいるほうが良い！でも相談できるいい日本人の友人は1人は必要！とにかくお金の許す限りいろんなところに行き、いろんなことをしてみる！学校の用意する交流会には積極的に参加して、現地の友達を作る！なにより、日本での生活を基準に物事を捉えないことが大事！何事も前向きに、“違うことが面白い”と感じることが大事！(語学、私費)
どの国でも同じだが、日本人の感覚では「ありえない」と思う事は山ほどあるので、それにいちいち拒否反応をしない事。(語学、私費)
貴重な機会なので、ぜひ異文化交流も楽しみながらこつこつ勉強も頑張り、上手に両立させてほしいです。また、海外の人々に対して、日本の文化も伝えられるよう努力してほしいと感じています。(語学、私費)
下調べを十分に行って出発したつもりであったが、よくも悪くも現地にいくとまた違った現実があり、不安のほうが大きかった。しかし、今しか学べないこと、日本では到底感じることもない感情を生み出してくれる場所であると思い、たった一ヶ月ではあったが今では行って良かったと素直に思える。可能な限り、長期での滞在をお勧めする。(語学、私費)
行く前に大目標を具体的に設定する。そして、それを達成するための小目標を複数設定し、一つずつクリアしていく。状況に応じて各目標を修正しながら、常にこれを繰り返すことが大切だと思います。(専門、政府奨学金)
ぜひ英語の勉強と日本のこと(歴史や生活文化)を勉強してから留学してほしいです。(語学、交換・派遣)
喉飴を持って行って下さい。(語学、私費)
文法はなるべく日本で勉強して行って現地では会話能力の向上に力を入れた方がいいです。(語学、私費)
情報に関しては『中国留学サクセスブック』という雑誌をベースにすることをオススメします。そして、不足する部分は適宜、学校の先生や経験者、留学アドバイザー、現地スタッフ等に訊くようにすると思います。語学に関しては、中国語の特性上、初級文法は抑えつつ、音声面を徹底的に強化すると思います。まずは、漢字1つの音(余裕があれば漢字2つの音も)の聞き分けと発音をガンバリましょう。学習方法としては、音声教材の再生速度をできる限り上げ、ディクテーションやシャドーイングを繰り返すのが効果的かと。心構えは、人それぞれだと思いますが、あまり語学ばかりにとらわれず、柔軟な気持ちで生活を楽しむことをオススメしたいです。あまり成果があらなくても大丈夫です。人生に無駄なことなど一つもありません。加油！(語学留学、交換・派遣)
日本人以外の人(各国からの留学生、現地の人)と多く交流をもてば語学力向上につながります。日本人との交流は最小限に抑えてください。しかし、いざとなったときに日本人の手助けが必要なき場合があります。ですので、コネクションだけは持っていてください。(語学+専門、交換・派遣)
目的意識・目標を持って生活すること、帰国後の進路をよく考えること(語学、私費)
お金の管理は日本円を現金で多めに用意しておくことをお勧めします。銀行送金などの方法ではトラブルのもとになりがちです。(語学、私費)
留学したら日本人ばかりではなく、いろんな国の人と仲良くなったら良いと思う。あとは、勉強も友達との交流もどちらも大事にして欲しい。(語学、私費)
留学中の時間はあっという間に過ぎてしまいます。学業が中心になるとは思いますが、せつかくの留学なので、見聞を広めるなど、なるべく中国でしかできないこともたくさんしてほしいと思います。日本人同士で固まらないように気を付けてください。実りの多い留學生活となることを心から祈っています。(専門、政府奨学金)
できるだけ現地の中国人と触れ合う時間を多く確保してください。(語学、私費)
貴重な時間と機会なので、自分の中にある常識や考えを一度捨てて何事も受け入れ挑戦してみること。現地での出会いを大切にすること。(語学、交換・派遣)
時間と健康に気をつけること。留学生ばかりであつまらないこと。(語学、私費)
周りにたくさん日本人がいますが、日本人とばかり固まらず、海外でしかできない経験をして欲しいです。せつかくいろんな国の人とたくさん出会えるチャンスなので、この機会に世界に視野をひろげてください。(語学、交換・派遣)
留学に行く前は各奨学金制度などの可能な限りの情報を集め、現地では外国人でも中国人でも日本人でもとにかく人と関わってほしいです。留学によって知識を得ることや語学力を高めるといことが学習面での成長であるなら、帰国後にもお互いの存在を大事に思える仲間が世界中にいるということは、自分の視野を広げてくれ、世界で起きていることに関心を寄せるきっかけにもなります。(語学+専門、交換・派遣)
観光気分で来ている学生も中にはいるので、つられて遊びすぎてしまわないよう気を付けてください。食事は合わないことが多いと思うので、こだわりのある人は自炊できる寮のほうが良いかも知れません。(語学、私費)
中国には何でもあります。そんなに不安になることはないと思います。何が必要かと言えば、自分の意見をはっきり言える勇気だと思います。目に見える物よりも、しっかりした気持ちを持つことが重要だと思います。(語学+専門、政府奨学金)
留学したい国の文化や政治と環境と語学をしっかりと勉強することが大切です。(専門、交換・派遣)
目標を持って留学したほうが良いと思います(語学、私費)

中国は他の欧米諸国と比べまだまだ発展していく国です。発展していく様子を自分の体で感じることができるので、とても魅力的な国だと思います。欧米諸国と比べ留学費用も安いし、留学生と仲良くなるのが可能なので、中国語プラスαの言語が学べて、すごくお得だと思います。現地での空気があまり良くないので、体調管理には気をつけてほしいです。(語学、私費)
色々なところへ出かけて積極的に現地の人と関わり、中国語を話すようにする。(語学、交換・派遣)
留学する前は、不安などがあるかと思いますが、留学中に起こる全ての事象を、マイナスに受け止めない事が大事だと思います。何事も経験が大事なので、とりあえず経験する事です。(語学、私費)
語学力は本当につけておいた方がいいと思います。留学前に現地に早めに行く、語学学校に通うなどで補ってください。また、銀行口座はすぐには作れないし、最初にたくさんのお金が必要なので現金である程度持っていきいでしょう。留学後は厳しい言い方になりますが目標を考え、現地でしかできないことを体験してください。たとえば、私の来ている香港であれば立地を利用して東南アジア、東アジアの多くの国に行くこともできます。間違なく中国(特に香港)留学はおすすめです。(専門、交換・派遣)
大金は持ち歩かないように気をつけて下さい。中国はスリが多いです。私は財布と上着を盗まれました。あと、留学会社は手数料が高い割に現地でサポートしてくれるわけではないのであまりお勧めできません。行きたい大学さえ決まれば、その大学専門で日本人仲介人のビジネスを個人的にやってらっしゃる方がいる場合もあります。中国というと治安の心配などをされる方も多いようですが、中国だからといって一概にそうとは言いきれません。私の留学先はもしかすると私の日本の地元より治安はよかったのかもしれませんが(スリは多いようですが)。中国といってもいろいろな場所があるので、自分がどのような所で何がしたいのか、自分に合った場所選びが何よりも重要になってくると思います。(語学留学、私費)
留学は視野を広げるだけでなく、自分への挑戦です。是非行って下さい。(語学、私費)
衛生面や安全面等で躊躇することがあるかもしれませんが、意外と大丈夫です。自分が後悔しないようにおもいきり今できることを楽しんでください。(語学、政府奨学金)
情報収集と奨学金などの応募をすることが重要だと思います。留学体験ブログなども参考になります。(語学+専門、政府奨学金)
現地では留学の目的を常に意識して行動することが大切だと思う。中国は日本と違い時間がゆっくり流れている感じなので、のんびりゆったり過ごしがちになり、気づいたら留学期間終了となってしまう。日本人だけ、留学生だけで固まらないように気をつけるとよい。多くの留学生が大学の留学生宿舎に住むことになると思うが、結果どうでも留学生同士で日々を過ごしてしまう。積極的に中国人に声をかけていくとよいと思う。留学生との交流に興味を持つ中国人学生は必ずいる。中国はとにかく広い。地域地域で全く異なる姿を見せる。各地に旅行することを強くおすすめする。(語学+専門、政府奨学金)
東北は素敵なおこなので、お勧めします！(^-^ )また、自分は霞山会の留学生として行きましたが、留学中も霞山会の方々に悩みを相談したり、いつも優しい言葉で励まされました！(専門、政府奨学金)
大きく三点。1. 私は留学中に体調を崩して現地の病院に入院した経験がある。そのため、留学保険や海外保険は必ず入っておくと良い。2. 留学前や留学中に中国語を勉強する機会は必ずあるが、「どういうレベルの中国語スキルを習得するのが目標か」を明確化した方が良いと思う。そうでないと、いくら現地で学習しても達成感が得られないからである。3. 現地の治安状況などは、事前に情報を得て確かめておく方がよい。(語学+専門、政府奨学金)
せっかく現地で留学をするので、授業だけではなく、中国人学生との交流や文化の学習も積極的に行うと良いと思います。(語学、政府奨学金)
日本で報道されている中国と実際の中国は違います。衛生面や安全面で心配するのはしょうがないことだと思います。しかし実際中国にはたくさんの日本人がいますし、世界各国からたくさんの方が中国に来ています。そこでみんな楽しく生活できています。私も留学する前は中国に対してマイナスなイメージが多かったのですが、帰国した今では、みんなにもっと中国のいいところを知ってほしいと思うようになりました。中国で出会ったたくさんの方や中国での楽しかった思い出のことを考えると、中国のことを悪く報道している映像を見ると悲しくなります。それぐらい今は中国へ愛着があります。もし、今留学しようか迷っているならば絶対行くべきです。中国は学費も欧米と比べ高くはないですし、食費もそんなにかかりません。最初は日本との違いに驚くかもしれませんが、すぐに慣れます。私もそうでした。心配事はたくさんありますが、いちいち考えていたらきりがありません。だいじょうぶ！目標を持って、それに向かって努力すれば、留学はきっと楽しいものになるはずですよ。私もまた中国留学をしたいと思っています。一緒に頑張りましょう。(語学留学、私費)
現地でコミュニティを広げる努力をする。漢語進修生においては、自分の語学力の伸びを測る方法を見つけることが大切だと思う。(語学、政府奨学金)
不安はあると思いますが、短期留学の場合は、現地の生活になれるのに時間がかかってしまい、あっという間に留学が終わってしまいます。文化の違いを思い切り楽しもうという楽観的な気持ちで、留学を思い切り満喫して、いろんなことを経験したらいいと思います。(語学+専門、政府奨学金)
留学を通して自分自身が成長出来たように思います。困難なことがたくさんあるかも知れませんが、臆せずに、頑張ってください。(語学、私費)
がんばってください(語学、交換・派遣)
留学することはかならず自分の成長につながると考えます。学業面ではもちろん、いろんな価値観に触れることにより広い視野で物事が見れるようになると思います。もし留学を迷っている人がいたら、私は「絶対に行くべき」の一言です！(語学、交換・派遣)

色のついた薄い紙(単子)を無くさない。英語を十分に勉強しておく。韓国人が多いので、韓国語の会話手帳を持っていくと仲良くなれる。中国人との交流団体に所属すると、中国人の友達が多くできる。日本の歴史をちゃんと説明できるようにする。授業を休まない。長い休みが取れたら旅行に出かけ、地域を理解するよう務める。(語学+専門、政府奨学金)
がんばってください。(語学、政府奨学金)
どうしても留学したいという気があれば、就職などを考えずに出願してしまって、自分を追い込んだ方がいいかもしれない。その方が留学中も気を抜かずに努力すると思う。また当たり前だが、留学に行くかどうかの最終的な決断は必ず自分で下すこと。(語学、交換・派遣)
現地に行けば好きな中国語がもっと好きになって帰ってこれる。(語学、私費)
やる気を持って行くべき。中国語は興味がないと習得できないと思います。(語学、交換・派遣)
中国留学は当初私の中では全く考えていなかったし、行くことはないと思っていました。しかし実際行ってみて私が持っている中国のイメージは変わったし最高の思い出ができ、また今でも現地で知り合った人たちと連絡を取っています。中国(北京、上海)も発展したなと思いました！食べ物や何事も最初から断るんじゃなくて挑戦することが大切だと思いました！そしてこの時代中国語を話せることはかなりプラスになると思います！(語学、私費)
留学は様々な国から考えや文化が異なる人たちと知り合う機会なので、積極的に彼らと関わることで自分の視野や考え方が広がると思います。また、日本人であることを嫌でも意識させられると思います。日本について勉強してから(可能なら日本のお土産を持って)行くべきだと思います。日本の常識や文化は海外から見れば、ある部分では変わって見えるので、特に年中行事についてや現在起きている社会問題については、簡単でもいいので説明できると喜ばれます。そして、歴史問題に必ず突き当たります。残念ながら、中国で教えられている日本は「悪」なので、所々で馬鹿にされたり、テレビでは必ず日本を悪者とした映画が毎日放映され、現在の領土問題に関しても中国が正しいという宣伝が日常的に流れています。日本や日本人を嫌っている人は存在していることを忘れないように心掛けて下さい。そういった部分を知ったことで、中国に対する考えや思いが変わる人は大勢おり、残念ながら中国が嫌いになった人も存在します。これは、韓国人の日本に対する考えとも共通しています。なので、中国人や韓国人とは歴史や政治問題はしないほうが無難であると思います。(語学留学、交換・派遣)
僕自身一ヶ月しか行ったことがないのでまだまだわからないことだらけだと思いますが、非常にいい経験ができたと思います。現地に行かなければ知ることのできないこと、中国のいいところまた悪いところも知ることができ、日本との文化の違い、考え方の違いなども理解し、改めて自分が日本人であることを感じ、自分たちの文化もわかったと思います。留学の志望動機は人それぞれだと思いますが是非行くべきだと思いました。(語学+専門、政府奨学金)
できるだけ日本人とはつきあわない方がいい。現地の人間と会話をしなければ、語学は身につかない。(語学、私費)
中国は経済成長が著しいとは言われていますが、まだまだ日本に比べると設備、制度で劣っているところが多いと思うので慣れないことが多いかと思いますが頑張ってください。(語学+専門、私費)
留学する前に自分の中で明確な目標を立てることが必要だと思います。私は目標を立てることで毎日目的意識を持って有意義な時間を過ごすことができました。また、日本とは環境が違うので、体調管理は自分でしっかりとすることが大事だと感じました。(語学、交換・派遣)
時間はあっという間に過ぎていくので、一瞬一瞬を大切に、何事にもチャレンジしてみることが大切だと思います。(語学、交換・派遣)
海外留学で特に重要なのはやはり環境です。日本人はやはり、ほかの国の人に比べて自分を押し込めるというか、いまいち自己主張に欠けるところがあるので、住居は一人部屋をお勧めします。あとは、中国は本当に大きな国なので、学校選びもなかなか大変だと思いますが、おススメは沿岸部の都市から学校を選ぶということです。内陸部に入ってしまうと、やはり環境に適応しにくいのではないかと思います。(語学、私費)
留学前の語学力があまり高くないとしても心配する必要はない。現地ですっかり勉強すれば成果は必ず出る。気楽に、楽しんで勉強してほしい。(語学+専門、交換・派遣)
自分を客観的に判断できる力が大切だと思います。本科や研究生ではなく、ただの語学留学生であれば、半年だと少し短かく感じると思います。1年程度がベストで、それを越えるとモチベーションが緩んでくると思います。力み過ぎず、緩め過ぎず、生活管理もしながら勉強もすることになります。ハードルは低めに、着実に過ごしたいものです。(語学、私費)
中国は本当に日本と正反対の国です。色んな価値観の違いにもぶち当たると思います。でも、そんな違いも楽しめるように頑張ってください！(語学、私費)
授業以外に会話の授業を探したほうが、よりスキルアップにつながると思いました。(語学、交換・派遣)
勉強や外国ならではの文化体験、街の散策を全て両立すれば留学生活が充実します。治安や交通安全は日本より少し劣るので、十分気をつけてください。事前学習もしてください。(語学、交換・派遣)
外国人とのコミュニケーションを恐れずにいっぱい話してください！(語学、私費)
留学は思っていたよりもいろいろ大変なことが多かった。でも現地で得るものはすごく新鮮なもので楽しかったです。今はいろいろ学べる機会なのでいい経験になったと思います。まずその現地の文化を学ぶことが大切です。留学は自分も成長できてよかったです。(語学、私費)

中国では現地に行ってみないとわからないことがたくさんあるので、現地の学校で日本人の人と情報交換をしたり、助けてもらうとよいと思います。(語学、交換・派遣)
あらかじめきちんと情報収集をして渡航することが大切だと思います。(語学、交換・派遣)
積極的に様々なことに取り組んだり、参加したり、中国人の友人もたくさん作って視野をどんどん広げていってください。後悔ない留学生活を！！(語学、交換・派遣)
目的の無い、安易な留学は避けるべきです。得られる成果は、準備に比例します。日本での基礎学習が大切です。(語学、私費)

### 【現在(アンケート実施時)中国留学中の方々の声】

留学したら現地の学生、現地の人、他国の留学生との交流をできるだけ大切にしたいほうが留学後の満足感や達成感が高いと思います。日本人が多い留学先ではどうしても日本人同士で集まりやすいとは思いますが、積極的に現地の方々と交流した方が語学も上達し、文化にも触れやすいからです。違う国での生活は辛い時期、考え込む時期があるとは思いますが、それを乗り越えると今までと違った価値観や強さが身についてくると考えています。いろいろな壁を乗り越え、留学後に得るものを感じてほしいと思います。(語学、交換・派遣)
ひたすら中国語を学ぶだけの授業が続くので、飽きてきたり、だれてきてしまったりもします。それに負けない忍耐力、気持が必要だと思います。(語学、交換・派遣)
留学に行く前にも事前にしっかりとその国の文化、言語を予習するべきだと思う。(語学、交換・派遣)
必ず友達を見つけること。荷物は現地調達出来るため、軽くすること。また、冬はとても寒いので重ね着できるものを持っていく。帰るときは、本など重いものは小包で送ったほうが安つく。(語学、私費)
現地の人はとても優しいのでゆっくり話してくれたり気を使ってくれるので耳から慣れるのは簡単だと思います。でも日本にいる時に留学に行くまでの準備がものすごく私は大変だったので、資金に余裕がある人の方がスムーズに進められると思いました。(語学、交換・派遣)
語学の基礎力不足を痛感した。語学の基礎は日本でも習得できるし、それが出来ていないのは、自身の努力不足だと痛感した。後は、一にも二にも発音と聴力の重要性を痛感した。また音痴の人は四声習得のために相当の覚悟と勇気が必要だと思う。(語学、私費)
日本人が海外留学をしなくなっている時代だからこそ、海外留学経験者の価値は高い。(専門、交換・派遣)
現地に留学中の知り合いがいるなら、事前に聞いておいて方が良いことがたくさんあります。SNSなどを使ってアドバイスを貰うのは自分にとってプラスになると思いました。私はJASSOに短期または長期留学用の奨学金があると知ったのが遅かったので、申し込めませんでした。留学するつもりならば早めに、出来れば一年以上前からお金のことについても調べておけば良いと思います。(語学、私費)
半年や一年の人が大半だと思いますが、留学は思っているよりもすぐに終わってしまいます。後悔の無いように、一日一日を楽しんでください。(語学、政府奨学金)
留学は自分の固定観念を覆し視野を広げる絶好の機会です。もちろんはっきりとした目標をもって留学するのが一番いいですが、たとえ将来に対してあやふやな状態であっても、興味があれば勇気を持って挑戦したほうがいいと思います。留学の経験は一生の財産になります。(語学、交換・派遣)
どのような留学スタイルが正解かは人によって異なるのでわかりません。しかし間違いなく言えるのは「留学してみないとわからない」ということです。不安もあると思いますが思い切って行くことが最も重要です。しかし留学して実感したのは「留学しただけでは語学は上達しない」ということです。楽観的な意識では失敗すると思います。行ってどのように勉強するか、モチベーションをどのように維持するかしっかり考えるべきだと思います。また、寒さに弱い人は南方はお勧めしません。特に上海の冬はとても寒いです。暖房設備がよくないので部屋も寒いです。北方へ行けばよかったと後悔しています。また、日本人の割合だけでなく韓国人の割合も調べたほうがベター。どこに行っても韓国人だらけで、彼らは彼らだけでまとまる傾向があります。日本人と韓国人が少ない学校がお勧めです。(語学留学、政府奨学金)
酔っぱらいには気をつけて下さい。(語学、私費)
語学に関して、必ず日本である程度勉強しておくことが必要と考える。特に漢語進修生の場合、語学力の習得が主目的となると思うが、事前の準備の有無で、留学生活(特に学習面で)の充実度が全然違ってくると思う。(語学、政府奨学金)
日本の食べ物(味噌汁、ふりかけなど)は持って行った方がいいと思います。薬も胃薬だけでなく、風邪薬や頭痛薬なども持って行った方がいいです。(語学、交換・派遣)
どんな学校に行ったとしても自分から中国人との交流機会を作り出すことはもちろん、留学先の学校で交流機会がどれくらいあるかは事前に調べておくといいと思います。(語学+専門、交換・派遣)
行く前に自分がたてた計画がうまくいかなくても、知らないうちに色々なことを学べているので、あせらず勉強するのがいいかな、と思います。と、自分に言い聞かせています。(語学+専門、交換・派遣)
留学前に留学の目的を明確にさせておくとうれしいと思います。(専門、交換・派遣)
中国語の基礎をしっかりと固めて行った方がいい。(語学、交換・派遣)
日本人はとてもシャイなので、留学する機会を得たら、恥ずかしがらずにもっと積極的に人に話しかけたり、外に出るように心がけたほうが留学生活をもっと充実させることができると思います。(語学+専門、交換・派遣)
海外で生活をする、本当に自身の考え方や見解が広がります。(語学、私費)

<p>何もしゃべれなくても、聞いてわからなくても、半年も経てばゆっくりわかるようになってきます。あせらず、流されず、マイペースで勉強していけば必ずと結果はついてきます！がんばってください！！（語学、私費）</p>
<p>留学は人から聞いて経験した気になるのと、自分自身で経験するのでは全く違うと感じました。（語学、政府奨学金）</p>
<p>今ではたくさんの日本人留学生在が中国にもいるのでなるべく日本語話者より現地学生と関わるべきだと思います。海外に出て日本を見てみるとまた違った視点から物事を考えられるようになります。わざわざ外に出なくても語学は勉強できますがそれ以上のことが学べると思います。（語学、政府奨学金）</p>
<p>留学は語学を勉強することも大切だけれど、それ以上に多くの人と出会うことが大切だと思う。（語学＋専門、私費）</p>
<p>留学の目的をはっきりとさせること。授業以外の時間がとても多く、その使い方が有意義であれば留学をもっと充実させられる。あと何事も積極性が大事。（語学、政府奨学金）</p>
<p>生活や学校の授業に慣れたら、きちんと目標を立ててそれに向かって細かく計画を練り、それに従って毎日を過ごすようにしてください。そうでなければ、半年も1年もあつと言う間に過ぎてしまい後悔することになってしまいます。（語学、政府奨学金）</p>
<p>私は性格が内気なので会話の上達がかかり遅れた。中国語を上手に喋れなくても積極的に中国人に話しかけたほうがいい。NHKの[中国鉄道大紀行]の関口知宏さんの言動は良いお手本。外国人の友達も沢山作る。その国の事が色々聞けるので面白い。日本についても色々聞かれるので、基本的な事は言えるように。日本技術情報センターの&lt;日本 姿与心&gt;は日中対照訳で、日本についてまとめた良書なので購入をおススメする。語学留学の場合はクラスメートと積極的に活動すること。宿題や予習復習は早めにやって、残った時間で中国人や外国人留學生と積極的に一緒に過ごすこと。思い出にもなるし、なにより中国語も上達する。くれぐれも日本人とはつるみすぎないように。せつかくの中国語環境が無駄になる。時間はあつという間に過ぎるので、充実した日々を過ごそう、と常に心がけるといいと思います。本科や専門課程は、中国人クラスメートと仲良くなって色々アドバイスをもらうといい。そして先生にも積極的に質問すること。PPTのデータなどは先生にすぐもらう。学科の勉強は無理すぎないほうがいい。無理すぎると体を壊す。体だけはくれぐれも大切に！（語学＋専門、私費）</p>
<p>勉強と友達どっちをとるか！！外国人は結構酒好きな人が多いから、平日でも徹夜でクラブに出かける。。。誘われた時に、何回も断ると呼ばれなくなる。。。その時どうするか？？？（語学、政府奨学金）</p>
<p>特に心配することはありません。（語学＋専門、政府奨学金）</p>
<p>大学院生で留学する人は、1人で勉強できるスペースを確保するのが難しいと思う。近年留學生数が急激に増加しているらしく、寮の部屋はお金を積んでも基本的に一人では住めない。また寮住まいの留學生は漢語進修生や語学目的の交換留學生など遊びたい盛りの年齢が多く、毎日のように部屋に友人を呼んでは騒いでいる。中国人学生も4人以上で住んでいるため、図書館は勉強したい学生でいつも満席。博士進修生なのに図書館で借りられる本が1冊など、研究する環境ではない。これは私の専門のフィールドに応じて選んだ留学先大学側の対応が進んでいないためかもしれない。家賃高騰のため、学外で部屋を借りるのも奨学金を頼りに留学する人には厳しいと思う。（専門、政府奨学金）</p>
<p>留学前にできるだけ語学力を高めておくといいと思います。また、現地の現状等は実際に留学してみないと分かりませんが、私はあらかじめ留学経験のある先輩に体験談を聞き、その事が留学後に役に立ったので、留学前の情報収集はできるだけ行った方がいいかと思えます。（語学＋専門、政府奨学金）</p>
<p>本科の授業が始まる前に、語学力をできる限りレベルアップさせておくことです。（専門、政府奨学金）</p>
<p>私は日中友好協会の選考を受け、政府奨学金の語学進修生として1年留学している。政府奨学金の利点は、資金面での心配が少ないことだ。欠点は、留学先を決められないことだ。これは留学後に後悔する最大点である。私は第三希望までのどれにもあてはまらない大学にいる。この大学は、日本人が少ないなど利点はいろいろあるが、クラス数・教師・事務所数々に問題がある。そのため、アドバイスとしては留学パターンのメリットデメリットを考慮する重要性を伝えたい。（語学、政府奨学金）</p>
<p>ちゃんと中国人と交流をするべき。日本人同士で固まりすぎないように！（専門、政府奨学金）</p>
<p>現地で生活環境を選ぶ際、できるだけ寮に入り、日本人以外の国の人とルームメイトになることをお勧めいたします。語学力の向上だけでなく、ルームメイトの国の文化なども知ることができます。（専門、政府奨学金）</p>
<p>明確な目的を自分の中に持つことです。（語学、政府奨学金）</p>
<p>なによりも現地ので日本人同士でも構いませんので交流して関係を築いてください。その有無によっての様々な事に対処する事情が違ってきます。決して一人では対処できないことは発生します。そこで頼れる人がいるといえど、言葉は過ぎると思いますが雲泥の差があります。その点だけは知っていても損はないと思います。（語学、私費）</p>
<p>上海に留学する場合、上海は東京と同じような都市で、街中にも大学にも日本人が多く、中国語を学ばなくても日本語で生活できてしまう環境です。なので、中国語を話す使う機会を自分で積極的にもつことが大切だと思います。また、上海の地元の人には上海語なまりの普通話話す人も多く、耳が慣れてしまったり自分もなまってしまいがちなので、大学内での相互学習や家庭教師などを活用して標準の普通話を身に着ける様にするのもオススメです。（語学、政府奨学金）</p>
<p>健康管理には注意してください。現地で早く頼りになる友達を作りましょう。がんばってください。（語学＋専門、政府奨学金）</p>

留学する前に留学先の言語をできる限り勉強しておく方がよいと思います。その方が、こちらで現地の友人も多くできますし面白い授業も先に取れると思います。(語学+専門、政府奨学金)
留学先の治安や衛生状況を早めに確認し、必要であれば予防接種を早めに受け始めること。また、留学先が英語圏ではなくても、英語を少し勉強して慣れておくと、留学生の多い環境になじみやすいと思う。(語学、政府奨学金)
お金とやる気と時間さえあれば誰でも留学できる。(語学、私費)
現在留学中で留学開始から1か月程度しか経過していないため、留学生活についてのアドバイスはあまりないですが、日本で単語をできるだけたくさん勉強してこればよかったと思います。また、来たばかりのときは全く中国語が聞き取れなかったのですが、1か月でもだんだん耳が慣れて聞き取れるようになってきているので、話せなくても現地で活きた中国語を学ぶことは非常に意味のあることだと思います。また、日本人同士でかたまたまに外国人と積極的にかかわって、中国語をどんどん使えば話すことにも慣れてきます。(語学、私費)
最初は生活に慣れずに不安なことがいっぱいありました。でも、中国人はみんなやさしい人だし、すぐに友達が出てくる環境だったと思いました。なるべく中国人と交流をすること。友達を見つけにくいなら、先生でも良いと思います。(語学、交換・派遣)
日記をつけ、1日1日を大切にすごすこと。(語学、交換・派遣)
留学前にHSKなど資格試験の時期を検討し、一年、もしくは半年の期間内に具体的に目標を立て留学されると良いと思います。生活環境は学習にも影響してきますので、単に学生の数、日本人の数だけでなくその学校の立地条件や交通状況なども検討されるべきだと思います。(語学、政府奨学金)
現地で積極的に良い友達を見つけること。(語学+専門、私費)
語学留学はすでにいろいろなルートがあり、北京・上海・大連などには日本人がたくさんいるので、生活自体で困るようなことはあまりないと思います。各国の留学生と知り合えるので、本格的な留学の前に半年なり短期でも経験するという選択肢もよいと思います。現状では、大学院生等専門を勉強する学生が少ないので、少しでも興味を持っている人がいっしょに積極的に挑戦してもらえたらと思います。中国の大学は海外からの留学生の受け入れに積極的ですし、単なる語学の勉強よりも、発表やレポート、中国人学生との交流など得るものが多いです。語学力が足りないかもしれないと躊躇している場合、どんな水準であっても誰もが苦勞するものなので、思い切ってチャレンジするべきだと思います。(専門、政府奨学金)
それぞれに異なった理由や目標があると思いますが、皆さん少なくとも中国語は勉強されるはずなので、そういった方へ。当然といえば当然なのですが、中国人とたくさん交流すればするほど成長が早いです。もし最初に交流した中国人とうまくいかなくても、言葉以前に性格の合う合わないは当然ありますので、大勢と付き合っていくうちに、言葉の壁なんて感じないくらい波長の合う友人を見つけられるはずです。一番いけないのは外国人(もしくは日本人)同士で慣れ合うこと。間違った発音が自分でも気付かないうちに定着してしまいますし、特に中国語を勉強するために留学する方は、留学生同士で交流する時間を中国人との時間に当てた方がいいと思います。(語学留学、交換・派遣)
何をしに留学に行くか、どのように資金調達をするか、どの大学に行くか、帰ってきたら何をするか等、留学前から留学後までの一連の予定を具体的に立てることが重要です。そのためには、早めに情報収集を行い、早めの準備が必要です。(専門、政府奨学金)
電子辞書は持っていたほうが良いと思います(語学、私費)
留学したことにより日本には体験できないことができ、日本には出会えない世界中の人と出会うことができました。もし、日本にいたらバイトばかりでテスト前しかろくに勉強もしなかったと思いますが、留学に来てからはいろいろな人と出会いその人たちと出会ったことによりもっとこの人達と仲良くなりた、この人達のことを知りたいと思より語学に打ち込みました。ですので、勉強にも身が入り、友達も増えいいことだらけです。世界各国の友達の考え方・文化などを知ることにより自分の視野も広がります。中国の大学に進学し、現在4年生になり、就活にとっても悩まされていますが、私は中国の大学に進学したことを後悔したことはありません。(語学+専門、私費)
現地では英語に頼らず、中国語でなるべく話をしたほうが上達が早いと感じました。(語学、政府奨学金)
もしできるなら留学する前に一度、実際に自分が通う学校・滞在場所を下見した方が絶対に良いと思います。(語学+専門、交換・派遣)
留学前のお金の管理方法を確定させる。何が必要かよく考える。(語学、交換・派遣)
まだ中国に来たばかりです。(語学、交換・派遣)
そのうち日本食が恋しくなるので、インスタントの味噌汁等を持っていくと良いです(語学、交換・派遣)
健康管理、食べ物には十分に注意する。(語学+専門、私費)
日本国内での情報収集と、海外での情報収集は方法・考え方などいろいろなところでギャップがあります。便利になっけていても、インターネットだけを過信しないようにしましょう。(専門、政府奨学金)



<p>留学生活中は、いかに息抜きをするかが肝心だと思います。日本と中国とでは何もかもが違います。食事、気候、習慣の違いに慣れるまで、肉体的にも精神的にも辛いものがあります。私の場合は、友人たちと朝方まで飲み明かすことで、ストレスを発散させています。特にナイトクラブは、外国人に限らず、中国の若者にも大変人気があり、週末は人で溢れ返っています。平日は人一倍勉学に励み、週末は一切教科書に手をつけないといった感じで、生活にメリハリをつけてやるのが重要だと思います。もう一つ提案として、長期休暇中は帰国せず、どこか別の都市への旅行を計画することをおすすめします。中国は北と南ではまるで別の国かと思えるほど、文化や物価が違っています。ただ、春節期間中の移動は大変骨が折れるもので、満員電車の中で、何時間も立ったままでの移動を余儀なくされることもあります。良くも悪くも、「見ると聞くとは大違い」といった感じです。たくさん見て、聞いて、感じることで、本当の中国が理解できると思います。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>留学は、そこまで大きな事ではないと考えています。私は中学卒業後すぐに中国の高校へ留学しました。親の転勤等もなく、友人知人親戚もいませんでした。単身で、ふらっと留学を始めました。留学と、日本で1人暮らしするのは似たようなことです。難しく考える必要はないのかと思います(専門、私費)</p>
<p>自分の夢をあきらめないこと(専門、私費)</p>
<p>卒業後の進路を考えた時、留学する大学、また専門は自分の興味だけで決めない方がいいです。また留学中に寂しくなって日本人と一緒にいるのはいいですけど、出来るだけ現地の人と友達になった方がいいです。でなければいつまでも中国語が伸びません。留学がんばってください。(語学+専門、私費)</p>
<p>海外生活に慣れるまでに一定の忍耐力と根気があれば、きっと自分を磨けます。(語学+専門、私費)</p>
<p>自分がどんな状態を十分に了解しなければ、留学するわけにはいかない。(専門、私費)</p>
<p>よくこちらで見かける日本人留學生の問題点として、入学手続き時の書類不備、特に「レントゲン写真、心電図」を持ってきていない人が多いです。よく中国から送られてくる資料には「Xレイ」とかかれており、私たちになじみのある「レントゲン」とは記入されていません。もちろんこちらで再検査しお金を払えば済む話ですが、日本でせっかく検査してきているのだから忘れずご持参されますことをお勧めします。(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>不安もあるかも知れませんが、それ以上に得る物が大きいです。挫折しそうになる時もありますが、苦しみ乗り越えた時の達成感言葉に出来ない喜びがあります。頑張ってください。でも無理は禁物です。健康あっての留学だと思います。何かあれば(ストレス等の原因による、何らかの体の異常)、すぐに病院に行く、相談する等の処置を取った方がいいと思います。体調を崩して帰国される方も多いようです。最後に、日本人は積極性に欠け、声が小さいと有名です。実際、自分もそうだと実感しました。語学を習得する事で大切な事は、積極的行動、失敗を恐れない事です。自分の中国語に自信が無くても、大きい声ではっきり言えば、相手に伝わります。それに、授業では、積極的に発言する事をお勧めします。何故なら、先生方の評価に関わってきます。自分をアピールする事によって、先生方の目には「一人の優秀なやる気のある学生」と映ります。そうする事で、成績に変化が見られ、良ければ奨学金を頂けるかもしれません。以上です。皆さまの留学成功、今後の発展を祈っています。(語学+専門、私費)</p>
<p>外国にいるからと言って、他人からは就職活動が有利であるだろうなどと思われがちですが、異国の地で暮らすことはあまり楽ではないです。私は中国に来る前引込み思案で他の人の後ろにいる事が多々ありましたが、中国に着てから積極性が必要だと思いました。まだまだ自分には甘えなどがあり、まだまだな点がありますが、家族と離れ一人外国で生活してみると自分には刺激があり、日本にいたら気付かないことを気付かされるとおもいます。それと、何処にいてもそうだと思いますが、努力を惜しまないことが大切だとも思います。(語学留学、私費)</p>
<p>中国に留学ができて、よかったです(専門、政府奨学金)</p>
<p>事前によく調べる。特に進学希望の学校があるならその学校の在學生または卒業生に聞く。安全・健康に注意する。最終的に留学先で頼れるのは自分しかないということ心得ておく。(専門、私費)</p>
<p>中国人と友達になることが語学習得の一番有効な方法だと思います。はじめはいろいろ慣れないこともあると思いますが、いろいろ経験して中国人のしていることを何でもやってみてください。見て迷っているだけではなにも始まりません。行動あるのみです！(語学+専門、政府奨学金)</p>
<p>留学したばかりのころは、日本語を使わないようにできるだけ日本人と接さないようにしていましたが、今思えばそうではなくて、日本人であっても外国人であっても、友達になっていれば、問題が起きたときお互い助け合うことができいいと思います。とても乾燥しているので、日本から保湿クリームを持ってきたほうがいいと思います。こちらの商品は肌に合いませんでした。また、水道水の中に土が多く含まれているので、部屋を借りて住む場合などは、濾過するもの(安いものがあります)を日本のホームセンターで買ってきて取り付けるとかなり違うと思います。(語学+専門、私費)</p>
<p>留学先にいる日本人とは仲良くなっておいた方が、現地のこととか大学の制度など詳しく教えてくれたりするから便利です。(語学、私費)</p>
<p>これから留学される方、特に中国語にあまり自信のない方はまず現地で長く留学されてる日本人を探すととても生活面で安心だと思います。生活面が安定してから中国人の友人を探し、語学能力を高めていくのがいい方法だと思います。(語学+専門、私費)</p>
<p>基本的な日常会話は前もって勉強しておいた方がいいです。(専門、私費)</p>
<p>最初はホームシックになるが、慣れれば楽しいもんだ。(専門、政府奨学金)</p>

日本の大学は入学が難しく卒業が比較的容易であることに比べて、海外の大学は反対に入学が比較的容易ではあるが卒業までが厳しいことを身を持って感じます。現にクラスメートも入学時は30名程いましたが現在は15人前後となっており、各学年同じような状況です。物価が安く日本に比べいろいろ楽しむことができますがメリハリのある生活リズムをしっかり確立できるかが大事なポイントになると思います。(専門、政府奨学金)

健康には特に気をつけたほうが良いと思います。北海道並みの寒さ、湯船が無いので身体が冷える、油と辛さに慣れないので食事管理が難しい、空気が悪いなどなど…。衛生も日本ほど徹底してないのでお腹も壊します。医者にかかるのもなかなか面倒です。勉強も健康であればこそ、だと思つて気をつけてみてください。あと、幸か不幸か日本人は平和ボケしている上、日本人＝金持ちというイメージは万国共通なようです。端的に言うと最高の獲物です。高価なものは身につけず手荷物や財布は常に狙われてるぐらいに思っておいた方が安全です。(語学留学、私費)

・自分のやりたい事を明確にする。(具体的であるほどよい)・相談できる友人や先生をみつける。・語学希望の方へ:日本人や外国人とばかり一緒にしやすいので、積極的に中国人と関わるよう心がけたほうが上達しやすいです。・本科生希望の方へ:言葉をしっかりと勉強してからがよい。言葉ができないとそれだけで辛くなるし、留学生嫌いの先生の原因はほとんどがそれ。でも一生懸命な姿勢を見せれば認めてくれることが多いので負けないで!(語学+専門、政府奨学金)

日本で得られる中国の大学に関する情報など(寮や授業の様子)は、よく変更があるし、あんまりあてにならない。もし、コミュニケーションするだけの語学力があるのならば、実際に電話やインターネットを利用して直接尋ねるのが一番確実です。(専門、政府奨学金)

学校手続きを円滑に済ませ、食事をちゃんととる事。病気や事故等の緊急時に対応できるような保険に入る事。(語学+専門、私費)